

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2024年度採択事業者 調査報告書

2026年3月31日

株式会社リバネス

(1) 事業目的



課題

ターゲットとなる経営人材像のミスマッチ

創業を考えるタイミングにおいて、研究者の持つ研究シーズは市場性が不明瞭なものも多く、当社支援先のスタートアップのケースでは経営経験の豊富な人材よりも一緒に試行錯誤できる人材が必要・マッチするケースが多い。

マッチングプロセスの設計思想の誤解

ディープテック分野においては、研究シーズを持つ研究者、経営人材を目指す候補者の両者ともに「共通の価値認識」で求めるものを設定できていないことが多く、ディープテック分野のスタートアップの創業チームとしてのマインドセットを揃えるプロセスが必要となる。一方で、多くの人材マッチングが、求める経験や人材像を明確化し、それに合う人材をマッチングするのみの設計となっている。

※価値認識のずれ：研究者はビジネスや経営の目線が足りない、経営人材の候補者は技術や研究開発の理解度が低くディープテックスタートアップ創業初期の泥臭さやIT・サービス等のスタートアップとの違いを認識していない、など。

MPM以前の取組

- 創業前の研究シーズを持つ研究者に対し、ラボの教え子や理系バックグラウンドの若手人材を接続し、共同での会社創業を主導した（3社）。
- 関連会社が運営するリアルテックファンド社を通じ、上記と同様の経営人材が主導する大学発ベンチャーに出資し、当社にて事業活動を支援した（3社）。
- 若手理系人材がスタートアップに参画する意識を醸成し、マッチングをするための取り組み「アドベンチャーフォーラム」を設計し、2023-2024年度にかけて2回実施した。
- 本取組を加速すべく、理系人材のプールを保有する人材会社との連携を開始した。
- スタートアップの経営人材がともに学び合う人材育成プログラム「ジャーミネーションカレッジ」を立上げ、2023年度と2024年度それぞれ、全6回のプログラムを実施した。

MPMで目指す姿

<長期目標>

- 旧帝大等、大型予算をとった研究者が、経営経験豊富な人材とタッグを組んで、VC出資のもとで大きな資金調達をベースに創業するようなモデルではなく、地域大学の研究者が、技術理解のある若手人材と共に500～1000万円程度の少額出資をベースに事業のタネを生み出し次のVC調達フェーズにつなぐ、地域大学の創業初期に合ったスタートアップビルダーモデルを構築し、新しいマッチングプロセスを確立する。

<短期目標>

- 理系人材のプールを保有する人材会社と連携し、地域大学にて若手人材向けのキャリアプログラムを継続的に取り組むことで、経営人材のプール拡大を目指す。
- 当社が展開するテックプランターを通じて、創業前のチームが経営人材を獲得して事業を加速できるモデルを構築する。

(2) 事業概要

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	【発掘】理系、若手人材プールを保有する人材会社のデータベースからの募集/社内外の人材データベースを活用した直接スカウト 【育成】アントレプレナーとしてのマインドセットを育てる教育プログラムならびにロールモデルとなる先輩経営者の講義、サポート
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	自社のマッチングプログラム 研究シーズ側はシーズの魅力と社会実装に対する意欲を、経営人材は自身が解決したい社会課題や取り組みたいテーマを発信する自己紹介ピッチを行い、研究シーズと経営人材が共創できるテーマをその場で構想し、仮想チームを結成する「マッチアッププログラム」を開催する。
③経営人材として経営参画するための環境整備	- 自社のプログラムの活用 経営人材と研究シーズの関係性構築を目的とした「チーム形成プログラム」、チーム形成が成功したチームに対し、出資機会提供をゴールにした「事業化支援プログラム」を用意し、関係構築、意思決定を促進する。 - 経営機能のサポート 知財、財務、労務の専門家としてプロフェッショナルサポーターを参画させる。
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	新たな創業支援モデルの評価 全国各地で展開するスタートアップ創出プロジェクト「テックプランター」と接続し、創業前のチームが直面する経営人材不足の課題に対し、新たな創業支援モデルの確立に向けて、自治体・地域企業・連携大学と連携した具体的な座組について考察し報告する。

～2024.12

発掘

2025.03

出会い

2025.05-07

関係構築

2025.08-10

意思決定

2025.11-2026.03

会社設立へ

特別セミナー

キックオフプログラム

チーム形成プログラム

事業化支援プログラム

DEMODOY/CxO会

(3) KPI

KPI	種別	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数				
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数		50	47	「出会い」の時点で研究シーズと経営人材の区別をなくしているため、総数を記載
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	SU創出	24 (12)	16	カッコ内にチーム化の検討をした人数を記載
	設立済みSUへの参画	-	4	設立済みSUへの参画を検討した人数を記載
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	SU創出	12 (6)	2	カッコ内に会社化の意思決定をしたチーム数を記載
	設立済みSUへの参画	-	1	設立済みSUへの参画の意思決定をした人数
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	SU創出	3	0	2件進行中
大学発スタートアップ支援数				
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	設立済みSUへの参画	0	0	1件進行中